

# 香川県立多度津高等学校 工業科・水産科〔全日制課程〕



## 1 学校基本情報

設置学科・コース	工業科・機械科 電気科 土木科 建築科 水産科・海洋技術科 海洋生産科	全校生徒数	487名
住所／電話	香川県仲多度郡多度津町栄町 1-1-82(JR 多度津駅から 200m)／0877-33-2131		

### ○特徴的な授業や取組み

工業科・水産科を併設する専門高校として、充実した施設・設備を使用して体験型・少人数型の実習等を多く取り入れている。また、学科毎に地元企業と連携し、インターンシップを実施して進路選択の一助としている。さらに、各種の資格・検定に向けた指導により、多くの生徒が難関資格に合格している。3年次には、国公立大学への進学を目標に、工業科は進学コース、水産科は進学対応の教育課程を設けている。

### ○特色ある学校行事

体育祭・・・クラス・学科がプライドをかけ、一致団結して競技に臨み、迫力がある。  
多高祭・・・毎年開催され、生徒の学習成果等が盛大に一般公開されている。  
修学旅行・・・3泊4日で北海道へ行き、スキー研修を中心として大自然を満喫している。  
その他・・・芸術鑑賞、ボランティア、クラスマッチ、ミニ水族館、校外学習、研修航海など多数あり。

### ○活躍が顕著な部活動

入部率が高く、水泳部、バレーボール部、ソフトボール部、ウエイトリフティング部、レスリング部など多数の運動部が県内はもちろん、四国大会・全国大会で活躍している。また、技術部、写真部、土木技術研究部、生物科学部などの文化部も活発に活動し、全国大会でも多くの入賞を果たしている。

### ○進路状況(令和6年3月卒業生の合格実績値〔過年度の卒業生を含まない〕)

大 学		専 門 学 校	就 職	
国公立	私 立		香川県内	香川県外
工1(内短大0)	工19・水3 (内短大1)	工10・水7	工67・水16	工18・水6

<進路の特徴>在学中に学んだ専門知識や技術を活かし、約70%の生徒が地元を中心として県外にも就職している。就職希望生徒の就職率は100%である。そして、約30%の生徒は、進学コース・進学対応を中心に国公立大学をはじめ有名私立大学・各種専門学校に進学している。

## 2 スクール・ミッション

社会や科学技術の変化に主体的・創造的に対応できる知識や能力を持った、心豊かでたくましく、21世紀のわが国や国際社会の発展に貢献できる人間の育成をめざす。

## 3 スクール・ポリシー

### ○このような生徒を求めています。

工業科や水産科の学習を通して、ものづくりや水産・海洋に興味・関心を持ち、自らの進路実現に向けて取り組む意欲がある生徒、また、文化活動・体育活動・奉仕活動等において、積極的に取り組む意欲がある生徒。

### ○このような学びを行います。

特色ある各学科の授業を通して、基礎学力の定着から専門的知識・技術の習得まで段階的・計画的に行う。そして、インターンシップやボランティア活動等の体験型学習を通して地域社会との連携も深める。また、資格取得を推奨し、就職率100%の実現と共に大学進学にも力を入れている。

### ○卒業までにこのような生徒を育てます。

自ら学び、考え、主体的に判断し、行動する意欲や能力、夢や理想の実現に向かってチャレンジする精神や態度、自然との共生を考えることのできる人材、社会の担い手としての望ましい勤労観・職業観のある人材を育成する。

社会や科学技術の変化に主体的・創造的に対応できる知識や能力を持った、心豊かでたくましく、21世紀のわが国や国際社会の発展に貢献できる人間の育成をめざす。

<機械科>

1年次

<ものづくりに興味を持つ>  
ものづくりに興味を持ち、機械加工の基礎を学び、可能性を知る。

<機械への第一歩>

座学においては機械に共通する内容を学ぶ。実習においては、測る・切る・削る・接合するを学ぶ。

2年次

<専門性を深める>

機械・造船の二つのコースに分かれ、違う視点から機械を理解する。

<各コースから機械を学ぶ>

コースごとに選択科目も変わり、実習内容も専門性が高くなる。

3年次

<活用力・表現力>

身に付けた知識・技術を生かし、作品製作を通して、クラフトマンシップを養う。

<課題研究への取り組み>

設計・素材調達・加工・組立・動作確認・成果発表を行い、モノができていく過程と心構えを学ぶ。

<電気科>

1年次

<興味>

職業人としての意識を持ち、電気が社会で果たす役割を理解する。

<資格試験への挑戦>

製作実習などを通して、ものづくりへの魅力を実感すると共に、資格試験にも挑戦する。

2年次

<向上>

実践的・体験的な学習活動を行うことで、専門性の向上をはかる。

<進路意識の向上>

自分の希望する専門分野の学習を深め、就業体験などを通して職業について考える。

3年次

<喜び>

体系的な学習を通し、電気技術者として社会の発展に貢献できる喜びを理解する。

<さらなる飛躍>

課題解決型の学習により、進学先・就職先でのさらなる飛躍をめざす。

<土木科>

1年次

<基礎・基本を習得>

基礎・基本の定着と、ものづくりの楽しさを学びながら視野を広げる。

<実践的・体験的な学習活動>

○現場見学会

○実習

測量：地物の形や広さを測る。

製図：図面（地図）を作成する。

2年次

<技能・技術の習得>

技能・技術を身に付け、専門分野の知識・理解を深める。

<積極的な資格取得への挑戦>

○測量士補

○小型車両建設機械特別講習

○2級土木施工管理技士学科（準備）

3年次

<技術者倫理の習得>

基礎・基本、技能・技術を応用させ、創造的に課題解決する力を身に付ける。

<技術者倫理について考える>

○課題研究（報告会）

○インターンシップ（報告会）

○専門職（プロ）を招いた授業

○進路決定

## <建築科>

### 1 年次

<建築への興味・関心>  
基礎学力の定着に加え、多くの建築物を知り、興味や関心を持つ。また理想の建築を考え、表現する。

#### <見て聞いて知る>

- 講演会（建設業全体）
- 現場見学（工場見学等）
- 実習・製図

### 2 年次

<幅広い知識の定着>  
多くの専門科目を学び、業種について考え進路意識を持つ。また将来の目標を定め、実現に向けて考える。

#### <発表等の表現を行う>

- 講演会（具体的な職種）
- 現場見学（工場見学等）
- 実習・製図

### 3 年次

<進路意識を実現へ>  
目標に向かって具体的な行動を行う。職場体験や座談会を通して自分の将来について考え、実践する。

#### <実践的な取り組み>

- 講演会 ○工場見学 ○インターンシップ ○建設業者との座談会 ○課題研究

## <海洋技術科>

### 1 年次

<出港>  
基礎・基本の定着を図りながら、海洋・船舶に興味を持ち、目指す進路を探る。

#### <海に慣れ、船にふれる>

- 水産海洋基礎実習（ロープワーク、カッター訓練）
- 専門の基礎科目（船舶運用、船用機関）
- 船舶関連団体からの出前授業

### 2 年次

<航海>  
コース別に専門科目にふれながら、日々の活動を通して目指す進路を固める。

#### <専門にふれ、船を経験する>

- コースごとの専門科目や実習などを通して海上での安全を学ぶ
- 翔洋丸実習を通して船の仕事・生活を体験

### 3 年次

<入港>  
日々の学習活動に加えて、資格取得などに積極的に取り組み、目指す進路を実現する。

#### <船を知り、専門を学ぶ>

- 翔洋丸実習の経験を生かし、知識・理解を深める
- 四級海技士、一級小型船舶操縦士など資格取得に挑戦

### 専攻科

#### <さらなる航海>

高校生活で学んだ専門技術を深め、上級の海技資格を取得し、目指す進路を実現する。

#### <船で学び、専門を深める>

- 一年間の乗船実習を通して、知識・理解を深め、上級資格へ挑戦

## <海洋生産科>

### 1 年次

<海での安全確保>  
水産教育を学ぶ上で、必要な「安全管理・協体制・指示の徹底」を、集団行動を通して身に付ける。

#### <水産海洋基礎実習>

- カッター訓練、ロープワーク、潜水基礎、包丁の取扱い等、基礎的な技術を習得する。

### 2 年次

<責任感>  
専門的な作業手順の習得および「自覚と責任感」を身に付ける。

#### <班別実習>

- 班編成により、食品加工や飼育管理を担当し、その結果を総括する。

### 3 年次

<経験値>  
豊富な活動を通して専門的な経験値を上げ、さらに役割分担により自主的な実践力を身に付ける。

#### <総合実習・課題研究>

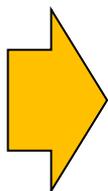
- 研究開発等を通して、専門分野への興味・関心をさらに高め、進路実現に繋げていく。

## <工業科進学コース>

### 1年次

<基礎学力の定着>

入学学科のクラスで普通科目・専門科目ともに基礎学力の定着をめざす。



### 2年次

<科目の選択>

専門科目を学びながら、進学に必要な科目を選択し、さらに学力の向上をめざす。



### 3年次

<目標の進学先へ>

進学コースの少人数クラスで普通科目中心の教育課程により、国公立大学等の合格をめざす。

## <水産科進学対応>

### 1年次

<基礎学力の定着>

入学学科のクラスで普通科目・専門科目の基礎学力の定着をめざす。



### 2年次

<科目の選択>

専門科目を学びながら、進学に必要な科目を選択し、さらに学力の向上をめざす。



### 3年次

<目標の進学先へ>

入学学科のクラスの中で、進学に必要な普通科目を選択し、国公立大学等の合格をめざす。

# 香川県立多度津高等学校 工業科〔定時制課程〕



## 1 学校基本情報

設置学科・コース	工業科（機械科・電気科）	全校生徒数	24名 (機械科14名 電気科10名)
住所／電話	香川県仲多度郡多度津町栄町 1-1-82（JR多度津駅から200m）／0877-33-2131		

### ○特徴的な授業や取組み

機械科と電気科からなる学年制の定時制課程です。4年間無理なく通学できるカリキュラムと、きめ細かな少人数教育を特徴としています。実習室は定時制専用の教室だけでなく、全日制の実習室も共用しており、充実した実習環境にあります。ガス溶接技術者や危険物取扱者、電気工事士（第1種・第2種）などの資格取得に力を入れており、資格試験前には学科や学年の垣根を越えて個別指導を行っています。

### ○特色ある学校行事

- ・スポーツレク…ソフトボール、バドミントンなど生徒と教職員が一体となって勝敗を競います。
- ・マイコンカーラリー…定時制高校としては唯一出場しており、全国大会に出場したこともあります。
- ・予餞会…生徒会が企画立案し、生徒と教職員全員で卒業生の門出を祝います。

### ○活躍が顕著な部活動

定通総体前の約1ヶ月間集中して活動し、バドミントン、卓球、ソフトテニス、陸上競技に参加しています。昨年度は卓球とソフトテニスが全国定通総体への切符を手に入れました。

### ○進路状況(令和6年3月卒業生の合格実績値〔過年度の卒業生を含まない〕)

大 学		専 門 学 校	就 職	
国公立	私 立		香川県内	香川県外
0 (内短大0)	0 (内短大0)	0	4	1

### <進路の特徴>

在校中の就業態度が認められて就職する者や在校中に得た資格を活用して就職する者が多いです。また、高校での学びを深めたり、就職先の企業から派遣されたりして短期大学で学んでいる者もいます。

## 2 スクール・ミッション

- ・ 勤労青少年の学びの場として、仕事と学びが両立できる充実した学習環境を提供する
- ・ 多様な学習環境を持つ者に対して、生涯を通じて学び続けていくことができる学習環境を提供する

## 3 スクール・ポリシー

### ○このような生徒を求めています。

工業科での学びを通して、豊かな教養と優れた専門性を身につけたい人。4年間を通して学業と仕事の両立をめざそうとする意欲のある人。多様な年齢集団の中で、コミュニケーション能力を高めたい人。少人数でのきめ細かな学びを実現したい人。このような生徒を本校は求めています。

### ○このような学びを行います。

少人数のメリットを生かして、マンツーマンに近い形で丁寧に指導します。特に実習や資格試験では、できるようになるまで、かつ分かるようになるまで粘り強く指導しています。また、様々な学校行事を通して異年齢集団での交流を深め、豊かな人間性が育つよう工夫を凝らしています。

### ○卒業までにこのような生徒を育てます。

何事にも粘り強く取り組むことができる生徒。豊かな教養と優れた専門性を生かし、自分で課題を見つけ、それを解決し、他者に説明できる生徒。在校中に取得した資格をいかし、生涯にわたって学び続けようとすることで、社会の中で自立できる生徒。本校はこのような生徒を育てていきます。

- ・ 勤労青少年の学びの場として、仕事と学びが両立できる充実した学習環境を提供する
- ・ 多様な学習環境を持つ者に対して、生涯を通じて学び続けていくことができる学習環境を提供する

工業科での学習を通して、確かな教養と豊かな専門性を身につけた人。  
少人数教育を希望する人。生涯にわたって学び続けたい人。

1年次  
〈学びの扉〉  
中学校で学びの定着と深化を図ります。また、機械と電気が社会で果たす役割を学び、専門科目への意識付けをしていきます。



計算技術検定やパソコン利用技術検定などに挑戦することで、高校での学習に必要な基礎的学力を身につけます。

2年次  
〈学ぶ喜び〉  
共通教科の知識を定着させていきます。また、機械科、電気科ともに実習が始まり、測る・切る・削るなど技術者としての基礎を学びます。



1年次に取得した資格の上位級を目指すとともに、ガス溶接技能講習を受講するなど工業の世界を広げていきます。

3年次  
〈学びの深化〉  
共通教科と専門教科を結びつける、主体的な学習が求められる学年です。製図や実習などできめ細かな指導を行います。



危険物取扱者や第2種電気工事士など広く社会で活用されている資格に挑戦することで、日々の学習を深化させます。

4年次  
〈学びの活用〉  
卒業後も学びに向かう力を身につけていきます。課題研究の授業を通して、機械や電気の特化の道を歩み始めます。



小型車両系建設機械免許や第1種電気工事士などの難関資格に挑戦し、卒業後も学び続ける力を培います。

4年間の学びで身につけた知識・技能を活用して、積極的に社会に関与し、わが国と地域社会の発展に寄与できる人材に育てます。